さくら新聞

～笑顔ｄｅ共育て～

平成30年6月1日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町7－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

月の主題
梅雨期を元気に！
今月の保育のねらい
健康に配慮し梅雨期を快適にすごす

楽しい季節のうつろい

若葉の頃より少し濃くなった、アプローチの紫陽花は濡れたような若い葉を次々に広げて目に染み入ります。

もうすぐ春、間もなくゴールデンウィークと待ちわびていた時季が過ぎて季節も変化の時を迎えます。

暦の上では立春から数えて135日目を「入梅」といい、気象学上は春の終わりであるとともに夏の始まり（初夏）とされており、この日から梅雨となります。

各クラスの保育も2か月を経過して環境に溶け込んであそぶ姿が見られます。子どもたちのあそびをじっくり観ていると「このおもちゃは幼すぎるよ」「この環境が楽しいよ」「友だちと一緒に遊んでうれしいよ～」等々、心のつぶやきが聞こえてきます。その姿を的確に受け止めてわたくしたち大人が為すべきことをしっかり考えて保育をしていきたいと思います

保育所保育指針の総則より…パートⅡ

先月に引き続き保育所保育指針の第一章に触れてみたいと思います。

総則の4点目に【幼児教育を行う施設として共有すべき事項】が謳われています。

(1) 育みたい資質・能力

ア保育所においては、生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、次に掲げる資質能力を一体的に育むようにする。

㋐豊かな体験を通じて、感じたり気づいたり、わかったり、できるようになったりする
「知識及び技能の基礎」

㋑気づいたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする
「思考力、判断力、表現力の基礎」

㋒心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする
「学びに向かう力、人間性等」

㋐㋑㋒の内容を読み込んで、考えてみると、私たちの保育園の保育目標の内容と共通点がみられます。つまり、子どもたちの主体性を育んでいくために日々、わたくしたちが取り組んでいることが明快に示されている気がします。ぜひ、各クラスのページで実感していただきたいと思います。【(2)は次号に続く】

６月　行事予定

日	曜日	内　　容
5	火	身体計測（乳児）
7	木	身体計測（幼児）
8	金	さくらアートくらぶ（5歳児）
11	月	不審者対応訓練
12	火	おはなし会
15	金	避難訓練　　情報伝達訓練
21	木	歯科健診（全園児）
22	金	さくらアートくらぶ（4歳児） 0歳児健診
23	土	業者による園舎清掃

7・14・21日⇒ 絵本の貸し出し
6・20・27日⇒さくらんぼくらぶ
6・27日⇒ 家庭的保育所受託児ふれあいランチ
20日⇒ さくらんぼくらぶ ふれあいランチ
6・13・27日⇒ 三原台中学校ボランティア部
8日（金）⇒ 写真撮影日（ニコニコフォト）

お知らせ　　そのⅠ

先日、年長児がペットボトルキャップを足立区の回収工場まで届けに行きました。
これまでの累計は、
◆個　数　…85,355個
◆ワクチン…99.2人分　となりました。
キャップは、リサイクル原料として利用され、ワクチンは「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付されます。今後ともご協力よろしくお願いします。

お知らせ　　そのⅡ

①情報伝達訓練実施
日時…6月15日（木）
※　対応よろしくお願いします。

②たなばた夏まつり
日時…7月7日（土）
場所…園庭＆園舎（1階）
※今年度は、七夕の日と重なっていますので『たなばた夏まつり』として実施したいと思います。
※園主催での実施ですが、父母の会のブースもあります。今後、夏まつり担当の保護者の皆様と、保育園の夏まつり担当の職員が話し合いを進めていきます。
※準備の状況や当日の詳細などは、お便りや父母の会のクラスメールでお伝えします。